

岡崎市議会議長

様

支出番号

会派名 チャレンジ岡崎・無所属の会

代表者名 江村 力



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

### 政務活動旅行報告書

令和 元年 10月 25日提出

活動年月日	令和元年 5月8日 (水) ~令和元年 5月10日 (金)	
氏名	江村 力、杉山 智騎、小田 高之	
用務先 及び 内容	1	用務先 埼玉県草加市
	5月8日	内容 子ども教育連携推進事業について
	2	用務先 千葉県柏市
	5月9日	内容 オンデマンド交通の取り組みについて
	3	用務先 埼玉県三郷市
	5月10日	内容 日本一の読書のまち推進事業について
	4	用務先
	月 日	内容
備考		



# 令和元年度 行政視察報告書

令和元年 10 月 24 日 (木)

チャレンジ岡崎・無所属の会 江村 力  
杉山 智騎  
小田 高之

## 1. 視察日程

令和元年 5 月 8 日 (水) ～ 5 月 10 日 (金)

## 2. 視察先及び視察内容

- (1) 埼玉県草加市  
子ども教育連携推進事業について
- (2) 千葉県柏市  
オンデマンド交通の取り組みについて
- (3) 埼玉県三郷市  
日本一の読書のまち推進事業について

## 3. 視察内容

### ■子ども教育連携推進事業について

5 月 8 日 (水) 13:30～

#### i) 埼玉県草加市

人口 24.7 万人、面積 27.46 k㎡  
せんべいで有名な草加市は、面積約 27.5 平方キロメートル、人口約 25 万人の都市である。県の東南部に位置し、地域の南部を東京都足立区に接している。古くは奥州・日光街道の 2 番目の宿場町として栄え、草加せんべい、浴衣地等の染色業、皮革産業など地場産業の町として発展した。1962 年の東武伊勢崎線と地下鉄日比谷線の相互乗り入れや、マンモス団地と呼ばれた松原団地の造成を契機に、住宅都市として人口が増加している。1917 年 4 月に東武線「松原団地駅」の駅名が「獨協大学前駅」へ改称し、これを



契機として国指定名勝「草加松原」など、市の歴史と文化を活かしながら、まちの魅力を高めるとともに、大学がある街として若い活力に溢れている町として発展している。また 1918 年に東京外環道の千葉県区間も開通し、交通の利便性の向上や地域のさらなる連携により、企業誘致が進んでいる。

ii) 子ども教育連携推進事業（幼保小中を一貫した草加の教育）について

目指す「草加っ子」（15歳の姿）を自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子と定め、0歳から15歳までの子どもの育ちを、幼稚園・保育園・認定こども園。小学校・中学校。家庭・地域が連携を図りながら共に支え、子供達の将来を見据え、「生きる力」を育成しようとしている。



(i) 幼児期の教育

・幼保小接続期プログラム

幼児期の「遊び（生活）」を通じた学びを小学校の学びにつなげるカリキュラムを編成するための教職員向けの指導資料を作成し、配布している。

・草加っ子にこにこわくわくプラン（草加市乳幼児期保育・教育課程）

人格形成の基礎が培われる重要な乳幼児期の教育について、発達の段階に合わせて経験させたい内容をまとめた資料を配布している。このプログラムを、市内全ての幼稚園・保育園・認定こども園に配布している。

(ii) 小学校・中学校教育

・MATH・MATH 単元ナビ&ガイド「小中学校教育課程指導資料（算数・数学）」

小中学校9年間を通じた算数・数学の教育を実施するための教職員向け指導資料を作成し、配布している。

・幼保小中一貫教育標準カリキュラム

0歳から15歳まで15年間の教育の見通しを持って、系統性のある学習指導を行うための教職員向け指導資料を作成し、配布している。

・小中連携プログラム

小・中学校9年間を通じた教育を実施するための教職員向け資料を作成し、配布している。

・目指す「草加っ子」

幼保小中の教職員が15年間の見通しを持って、指導のねらいや指導内容を共有し、一体となって子供を育てていくための指針を示している。

iii) 所感

新学習指導要領の実施に向けて、小学校英語教育、プログラミング学習等、の新しい取り組みが各地で行われている。しかし、決して忘れてはならないのは、教育の一貫性である。その点で、草加市の幼保小中の一貫した教育の取り組みからは、学ぶものがあつた。本市の教育も、次の点について、今一度立ち戻って考えるべきである。

・「幼児期の育ちは、生涯に渡る学習の基盤になる。」との考えのもと、幼児期の教育を最も重要視している。目標に向かって頑張る力、人とうまくかかわる力、感情のコントロールをする力等、非認知的能力の育成に力をいれている。

・幼保から小学校へ、小学校から中学校へのつなぎ、間のところを丁寧に時間をかけて指導している。

・幼稚園・保育園・小学校・中学校の先生を一堂に会する機会を何度も設け、意思疎通を図っている。

■オンデマンド交通の取り組みについて

5月9日(木) 10:00～

i) 千葉県柏市

人口 41.4万人、面積 114.74km<sup>2</sup>

県北西部、東京都心から30km圏内に位置。JR常磐線、つくばエクスプレス、東武アーバンパークライン、国道6・16号、常磐自動車道と、首都圏の放射・環状両方向の交通幹線の交差部に位置する交通の要衝。昭和30年代以降、大規模住宅団地の造成が相次ぎ、鉄道サービスの拡充と相まって都市化が進展。市中央部の



JR・東部柏駅周辺には広域利用型の商業・アミューズメント機能が集積、さらなる活性化に向けた事業が進んでいる。

ii) オンデマンド交通の取り組みについて

・導入の背景1：生活交通の廃止

○福祉バス及び民間路線バスの廃止

→代替交通としてコミュニティバスを運行

●平成22年度に行われた事業仕分けにおいて「要改善」判定

・導入の背景2：市域における実証実験

○柏市をフィールドとした東京大学大和（現稗方）研究室によるオンデマンド交通実証実験の実施

○国（内閣府）の社会還元加速プロジェクトにおいて、ITS実証実験モデル都市に選定  
【柏ITS推進協議会】

第3部会（現公共交通部会）における取り組み

次世代公共交通システムの研究・開発

・導入前の配慮事項1：公共交通の役割分担

○既存公共交通に過度な負荷を与えずにオンデマンド交通の導入を進める

・導入前の配慮事項2：事業スキーム

○運行計画等の検討

→タクシー事業者と共同で勉強会を開催



持続可能な公共交通には経費縮減が重要な課題

○運行委託方式

→利用者1人あたり800円（運行当初1000円）を支払うインセンティブ制による委託方式を採用（ただし、予算上限あり）

・導入前の配慮事項3：将来の民間事業化

○目指すべき方向

タクシー事業者による将来の自主事業化

・タクシー平均日車営収：約33,700円

・デマンド運行での収入：18,800円（10時間）

・タクシー事業での収入：14,960円（8時間）

●目標利用者数：60人（当初目標20人）

・利用状況

○利用者数は増加傾向（1日あたりの最大利用者数は63人）

○女性が9割。平均乗合率：約1.2人

○導入効果

- 利用者（住民）から見た効果
  - 面的運行により区域内の移動手段が確保された
- 運行事業者から見た効果
  - 新たな需要の掘り起こしに成功した
- 柏市から見た効果
  - 支出額が削減した

### iii) 所感

柏市は最初に状況を把握する段階で市を4つのエリアに分け、それぞれの交通網の問題点を抽出し検討を始めた。そして、各エリアにあった交通政策を導き出した。通常の路線バス、ジャンボタクシー、オンデマンドタクシー。そして、オンデマンドタクシーエリアでも2区域岡崎市も全てを同じ方法で考えるのではなく、エリアに分けて、それぞれで対策を講じるべき。

## ■「日本一の読書のまち推進事業」について

5月10日（金） 10:00～

### i) 埼玉県三郷市

人口 135,705 人 面積 30.13 km<sup>2</sup>  
 県の東南部に位置し、三方を皮に囲まれている水の郷。東京都心から20km圏でJR武蔵野線、つくばエクスプレスが通るなど交通利便性が高く、住宅都市として発展。三郷IC周辺には物流センターや工場などが集積。現在、人口流入が増加しており、最多人口を更新している。



### ii) 日本一の読書のまち三郷推進計画

平成25年3月18日に「日本一の読書のまち宣言」を議会で議決するなど、市をあげての取り組みがなされており、現在は平成28年度から平成32年度までの5年間を計画年度とした「日本一の読書のまち三郷推進計画」が進められている。推進体制として、教育委員会生涯学習部内に「日本一の読書のまち推進課」を設け、そのなかに企画推進係が配置されている。また、市内に三箇所ある図書館も推進課内に設けられていることで、簡潔な意思決定ができる組織推進体制になっている。

### iii) 所感

「日本一の読書のまち」という言葉が何よりも印象的で力強いつと感じた。実際は何を持って「日本一」とするのは難しいことであるが、ブックスタート支援から家での読書の推進、そして、さまざまな公共施設における書棚の配置など、市民の「揺り籠から墓場」まで本に触れる環境を整えようとする政策は、宣言通りのものではないだろうか。

